

—— 葛飾区議会議員 ——

うてな

ひであき

基

英

明

区政レポート 2013年 初秋号

プロフィール

- ◆昭和53年(1978年) 5月生まれ ◆葛飾区立南綾瀬小学校卒業
- ◆渋谷教育学園幕張高等学校付属中学校卒業 ◆渋谷教育学園幕張高等学校卒業
- ◆成城大学法学部法律学科卒業 ◆株式会社 ギョウセイ(出版社) 入社 教育図書担当に配属
- ◆株式会社 日本教育新聞社 に転職 教育の専門新聞社で勤務
- ◆民主党・衆議院議員 武正公一 秘書 を経て ◆平成21年度葛飾区議会議員選挙において 初当選
- ◆現在、文教委員会(常任委員会)と都市基盤整備特別委員会(特別委員会)に所属

平成25年 第1回定例会 一般質問

1 水害において区民の不安を払拭するため、避難行動をどうとるか、分かりやすい形式で示していく必要があると考えます。そして、その内容は、生命財産に関わってくる部分ですので、区民への周知徹底をしていく必要があると考えますが、どうか？



2 避難所へのサインを設置していく必要があると考えます。平時に目に触れることで、防災意識を喚起し、有事の際にも有効な誘導方法であると考えますが、どうか？

3 災害時に情報を集約し、災害対策本部に情報を上げて行く仕組みに関して、学校と地区センターの相互性をどう効率よく確実に繋いでいくかが重要になってくると考えます。そこで小型無線機を配備する方法は重要であると考えますが、どうか？

1 地元の堀切まちづくり推進協議会の方々がご尽力いただいていることは承知しておりますが、区としても、しっかりと後押しをしていく必要があると考えます。東京都の不燃化10年プロジェクトに関して、10年でどういう形にするのか不透明な部分はありますが、引き続き手を上げて、東京都と連携した木密解消を図っていくべきであると考えますが、どうか？

2 3年前の平成22年第1回定例会で一般質問をさせていただきましたが、「目に見えて街が変わっていく」ことの重要性も考慮しなければならないと考えます。現在、次世代のために奮闘されている方々にも街が変わっていく様を見ていただき、現在まちづくりに関心が薄い方々には、興味関心を喚起するためにも、目に見えるまちづくりが必要であると考えますが、どうか？

3 堀切5丁目は、区内災害危険度ではワースト2位であり、区内でも危険な地域です。こうしたところにどのように対応していくのか、昨年の平成24年第一回定例会の予算審査特別委員会でも触れましたが、その後、どういう方向が検討されているのか、危険度ランキングというものが出来上がっている以上、早急に対応する必要があると考えますが、どうか？

4 商店会の活性化について区としても、しっかりとフォローをしていく必要があると考えます。例えば、愛知県岡崎市では「得する街のゼミナール・まちゼミ」と題した活性化策を行っています。お茶屋さんが講師となる「美味しいお茶の入れ方」や、司法書士事務所が行う「相続、ウチの場合は」など、バリエーション豊富な106講座を実施しています。23区でも、荒川区で行っている「街なか商店塾」があります。これは、店主らの得意技や人柄に触れ、大型店にはない魅力やサービスを知ってもらうのが狙いです。地域の商店に足を運ぶきっかけづくりにと、各商店が初めて取り組み、計四十四講座を実施しています。こうした取り組みは、十分検討に値すると思いますが、どうか？

1 いつも自分たちが勉強している教室や理科室で目の当たりにすることによって、より身近に感じ、知的好奇心を育むことができるのではないかと考えます。東京理科大学の学生を活用し、キャラバン隊を組んで、小中学校に出前で行ってもらう方法は、どうか？

2 科学教育センターについて、東京理科大学と学生の参加人数や時間設定をどのように打ち合わせているのかを含めて、センターの活用方法をどう考えているのか。科学教育センターの担う役割は、大変大きく、これだけの施設を作った以上、最大限活用していく必要があると考えますが、どうか？

1 葛飾区においても高齢化が高まり、管理されていない空き家が散見されます。他自治体では、代執行を含めた「所沢タイプ」と呼ばれる条例が制定されてきています。今後どうアプローチしていくことで不安を払拭しているのか？

2 今後の想定の一つとして、住み手が居なくなった「まだ使える空き家」というケースも想定されます。例えば、大分県豊後高田市では、「空き家バンク事業」を実施しています。葛飾区においては、現状多くないかもしれませんが、今後を見据え、また、外部から人口を流入させるという観点から、検討に値するのではないかと考えます。例えば、東京理科大学の学生がシェアハウスとして活用することも可能性としては考えられます。様々な方策を練り、地域の不安を解消していただきたいと考えますが、どうか？

意見書

地方議会が国に対して要望等をぶつける権利であり、機会です。

私、うてな英明は、我が会派・民主党葛飾において、意見書調整委員会の担当として、政調会長を任されています。今回は、私が作成し、担当した意見書をご紹介します。

- ◆平成21年 第4回定例会 不妊治療に対して医療保険の適用範囲拡大を求める意見書
- ◇平成22年 第1回定例会 年金記録問題について実効性ある対策を求める意見書
- ◆平成22年 第2回定例会 地域主権の確立に関する意見書
- ◇平成22年 第3回定例会 議会招集権を議長にも付与することを求める意見書
- ◆平成22年 第4回定例会 ポリオ予防接種の不活化ワクチンを承認することを求める意見書
- ◇平成23年 第1回定例会 地方自治法の改正論議を深めることを求める意見書(案)
⇒ 賛成少数のため、廃案
- ◆平成23年 第2回定例会 民間建築物の耐震化の推進を求める意見書
- ◇平成23年 第3回定例会 離婚・別居後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書(案)
⇒ 賛成少数のため、廃案
- ◆平成23年 第4回定例会 安全な自転車走行ができる環境整備を求める意見書
- ◇平成24年 第1回定例会 中学校の武道必修化における柔道指導の安全対策の徹底を求める意見書
- ◆平成24年 第2回定例会 子どもを安心して産み育てられる社会を創るよう求める意見書
- ◇平成24年 第3回定例会 けいれん性発声障害(SD)の周知及び治療環境の整備を求める意見書
- ◆平成24年 第4回定例会 空き家問題の解消に向けた対策に関する意見書
- ◇平成24年 第4回定例会 若年雇用対策のさらなる充実を求める意見書
- ◆平成25年 第1回定例会 海洋資源の発掘と早期の実用化を求める意見書

う て な 英 明 utena hideaki



区長との政策協定

残雪の駅頭風景

地元のほりきりと一緒に

文教委員会 行政視察

うてな英明事務所 連絡先

〒124-0006 葛飾区堀切5-48-5 TEL&FAX : 03-3693-2777 HP : <http://hideaki-utena.com/>
E-mail : info@hideaki-utena.com facebook : <http://www.facebook.com/hideaki.utena>

発行元：民主党葛飾

〒124-0012 東京都葛飾区立石 5-13-1 TEL : 03-3695-1111(大代表) FAX : 03-3697-0137(会派控え室) HP : <http://min-katsu.jp/>

